

ネラワリ語の歴史

- フダモロ帝国時代

遺跡に呪文や固有名詞などが見られる。長文は記されていないため、詳しい文法等は未解明。

- ネラワリ王朝最盛期

ネラワリ文字の登場により識字率が急上昇。ネラワリ文学が花開く。

- ネラワリ王朝末期

英語からの借用語だらけになる。

- 戦後

文壇を中心に「ネラワリ語復興運動」が始まる。

「良いネラワリ語で話そう」をスローガンに、借用語が排除されていった。

「良いネラワリ語」の基準が不明確であったため、複数の方言が混淆することになった。

ネラワリ文字の歴史

- フダモロ帝国時代（?～16世紀ごろ）

100以上の複雑な音節文字「フダモロ文字」が存在し、聖職者のみが用いていた。古くは7世紀ごろの骨角製呪具にもフダモロ文字と思しき文字が見られる。

- ネラワリ王朝初期

1603年、名君ハイリ・ネラワリⅢ世が識字率の低さを憂慮し、フダモロ文字をもとに古ネラワリ文字を制作した。

当時のものは子音部と母音部が合わさった梵字のような表記体系であった。

数字はフダモロ文字のものをそのまま継承した。

- ネラワリ王朝末期

ラテン文字が渡来し、ネラワリ文字は一旦廃れる。

- 戦後

ネラワリ語復興運動により、ネラワリ文字復権。

タイプライターで入力しやすいようにと、ネラワリ文字の子音部と母音部が分けて筆記されるようになる。

1971年、ネラワリ政府が正書法を発表。"𑌒"の文字は完全に廃止された（ただし活字には幽霊文字として残る）。